

# バーコード・二次元コードグレード検証

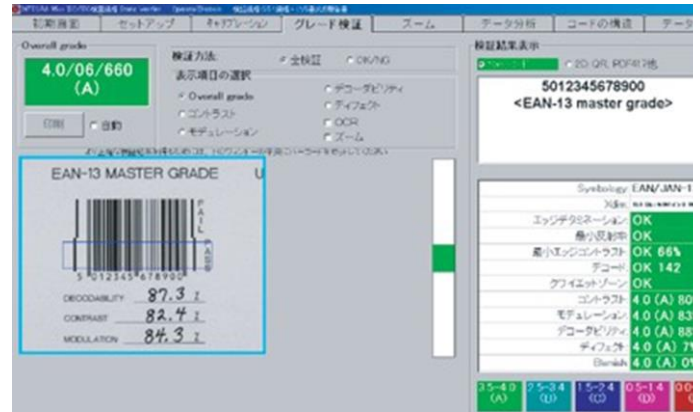


# インテグラ9510



## グレード検証の世界標準機

## GS-1認定、日薬連ガイドライン完全対応済み



### 業界のデファクトスタンダード機

LVSのインテグラ95xxバーコード検証システムは、2004年のGS1認定1号機モデルである9500から進化し続け、前モデル9505を経由して、2014年に現在の9510に到着しております。その間一度もGS1認定を外れたこともありません。

現行モデル9510はGS1規格の検証に対して必要十分な小型化を進め、印刷や受入検査などの現場作業でも簡単な操作で安定したグレード検証が可能な1Dコード、2Dコードの検証機として仕上がっており、従来の3倍以上のペースで出荷台数を増しております。

LVSの静的検証機のカメラユニットは、当機9510の他に、ハンドヘルド型9580、ハンドヘルド走行型9570その他特殊設計システム等多くラインアップされていますが、検証ソフトウェアはインテグラ95XXとして統一されています。

全てのGS1規格、ISO-15416,15415準拠のグレード検証に加えて、世界で流通している殆ど全てのコードを高い精度でグレード検証、分析を行ないます。もちろんQRコード、日薬連ガイドライン準拠、加えて郵便番号のカスタマーバーコードのグレード検証にも対応しています。カメラユニットは小型軽量(5kg)で、場所を移動させての検証にも適しています。

ウィンドーズソフトウェアであるインテグラ95XX内のコード画像をマウスでエリア指定するという極めて簡単な操作で、流通している殆ど全てのバーコード、二次元コードを、グレード検証、そして分析可能なデータを表示します。

機器構成は、検証対象を撮像するカメラユニットと、インテグラ95xxソフトウェアを搭載するウィンドーズパソコンと、USBケーブルのシンプルな構成です。

ラベルのようなシートのフラットな基材は勿論ですが、ラベルの貼られた製品、或いは直接印刷されたボトル、パッケージ等の立体物もインテグラ9510本体上面のプラットフォームに置くだけで、グレード検証可能です。

複数のバーコード、二次元シンボルコードを同時検証する機能も搭載可能です。

視野幅よりも長いバーコードは分割して撮像し、自動接続して検証する機能も標準搭載です。

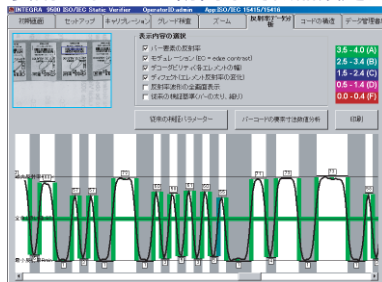
### 開口径は検査規格に準じて自動選択 ユーザー指定も可能です

- ・ 自動開口径：検証規格に準じて最小モジュール、自動選択
- ・ 開口径を手動で設定するオーバーライド機能搭載
- ・ スティッチ機能：長いバーコードの検証可能
- ・ GS1書式、LVS書式、ユーザー書式の検証報告書の発行が可能
- ・ 検査結果は自動保存され、いつでも検査報告書を作成可能
- ・ グレード検査と同時に、各部のグレードを色別視覚的表示
- ・ 0.05ミリピッチでのバーを全検証し、実測数値データ表示
- ・ データ分析画面で、視覚的分析と実測データの活用機能
- ・ QR、マイクロQRコード対応
- ・ 日薬連ガイドライン完全準拠
- ・ 各国の郵便番号コードのグレード評価機能も標準搭載
- ・ 検査枠に入らない長いバーコードも検証可能(スティッチ機能)
- ・ 複数のコードを同時検証可能なテンプレート機能
- ・ 登録済データとの照合し、エンコード内容と同時に登録名表示
- ・ QR、マイクロQRコード対応
- ・ エンコードされたデータの構文チェック、不良箇所表示機能
- ・ ISO或いはGS1パラメーターに含まれない汚れ、傷を検査結果に反映する機能
- ・ ISO/IEC検証の最低レベルの10スキャンでの検証結果も表示可能
- ・ トラディショナル方式のバーコード検証結果の表示
- ・ QR、マイクロQRコード対応
- ・ しきい値を設けてOK/NGのグレード切り分け表示機能

### ユーザー自身でも設置、運用開始まで可能な形で出荷します。

ユーザー自身でも導入可能です。インストラクションマニュアル完備 要請があれば、訪問して機器設定、操作指導を行ないます。

検証は、マウスでエリアを囲むだけ！  
 検証結果は総合評価のグレードを色別で表示し、開口径、検査時の波長域を表示すると同時に各パラメーターも色別表示します。  
 コードの実測値も表示されます。  
 左の画面は波形と主要パラメーターの詳細実測データを表示しています。



# インテグラ9510 カメラユニット

## LVS9510用カメラユニット（スキャナー）とは？

インテグラ9510は上部ガラス面を検証テーブルとするCCDカメラ方式を採用しています。①検証機の上面に置くだけで各種コードの検証ができ、②トップのガラス面がデータ検証のフォーカス面であるので、フラットな基材のみならず立体物パッケージをそのまま検証可能です。製品にコードが付いた状態で、検証可能であり、出荷用コンテナ、ダンボール、平面でない場合（ボトル、注射器）でも検証できることです。インテグラ9510は、GS1とISO/IEC規格を完全に満たしていると同時に天板のガラス板検査ステージ上に検体を置いて検証を行ないますので検査対象の形状を気にせずに検査できます。

## 3種類の視野幅と異なる解像度のカメラの組合せから選択

インテグラ9510機は、3種類の視野幅から選択できます。下記の表は、バーコードのモジュール幅と二次元コードの最小セルサイズの組み合わせです。

	検証視野幅	最小バー幅 1-D	セルサイズ 2-D
500万画素	44ミリ	3.0mils (0.07ミリ)	4.5mils (0.11ミリ)
	76ミリ	4.0mils (0.10ミリ)	5.9mils (0.15ミリ)
	104ミリ	6.0mils (0.15ミリ)	9.0mils (0.23ミリ)
	114ミリ	7.0mils (0.18ミリ)	9.8mils (0.25ミリ)
	159ミリ	9.4mils (0.24ミリ)	11.3mils (0.33ミリ)

## テンプレート機能（オプション）

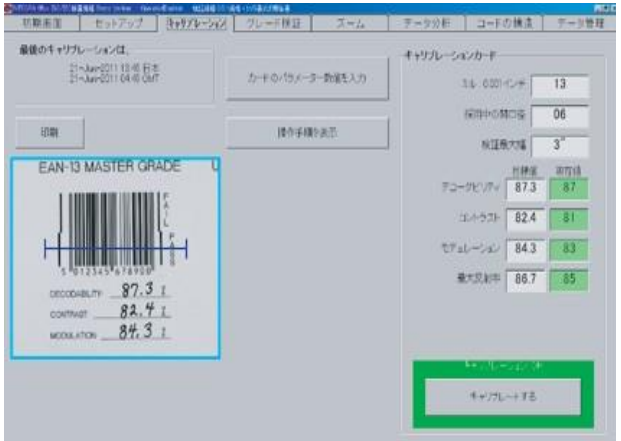
当システムは、繰り返し検証を行なう際に有効なテンプレート機能を持っています。製品に貼られたラベルやパッケージ上の複数個のコードの位置を、ユーザーが自由にテンプレートを作成できワンクリックで全てのコードを一回で同時検証できます。

## LVSは世界で最初のGS1認定バーコード検証機を開発した企業

GS1認定機の第一号であった初期モデルのインテグラ9500、その後継機「インテグラ9505」を引き継いだ「GS1認定機です」。流通しているコード全てに対応しています。機器へのログインから、全ての検証作業、操作履歴等を電子ファイル化しており、21CFR-Part11準拠

### 搭載済みコードの規格(抜粋)

- JAN, EAN128, GS1規格の全コード、
- ITF-14, NW-7, Code 39
- データマトリックス, French CIP-ACL
- Aztec Code, Maxi Code
- UCC/EAN-128, 動物医薬品コード
- 日薬連ガイドライン
- EAN/UPC w/ CC, Han Xin Code,
- AIAG/JAPIA, ALDI, 米国防省規格
- QRコード、マイクロQR
- USPS メールバーコード
- 英国ロイヤルメールコード（日本と互換性あり）



ユーザー自身でいつでもキャリブレーション可能

## 仕様

- カメラユニット寸法  
 奥行き = 9.062吋 (230mm)  
 幅 = 11.125吋 (282mm)  
 高さ = 10.25吋 (260mm)  
 重量 = 11ポンド (5kg)

CCDカメラ モノクロ 500万画素

### パソコン必須条件

- Windows7 或いは Windows XP (Vistaはサポートしていません。)
- CPU Intel® Core™ 2 Duo Processor以上
- メモリー 2GB RAM
- ハードディスク 120GB
- ディスプレイ 800x600以上
- USB 2.0ポート 2ポート以上

- 光源 赤色 660nm  
 12 vdc 1.6 amps

- 入出力  
 USB 2.0 port 12 vdc 1.10 amps

### 作業環境温度

- 10℃～30℃
- 保存場所の温度 0℃～40℃
- 環境湿度 20%～70%

キャリブレーションカード  
 GS1発行のコンフォーマンスカード付属



販売代理店